

## コース9 ちゅうすだけ あさひだけ 茶臼岳・朝日岳

リーダー CL S.N. SL N.M.、S.E.

実施日 令和4年5月23日(月) 天候 雨 グレード B上、C

参加者 19人(男性 7 女性12)

### コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:30	新津駅西口5:40JR一番着に合わせる
那須RW山麓駅	9:10	9:40	風雨対策をしてから登山
那須RW山頂駅	9:45	10:00	百人乗りのゴンドラで一気に9合目まで
茶臼岳山頂 1,915m	10:40	11:10	雨の中、隊列を組み山頂へ。記念撮影
峰の茶屋跡避難小屋	11:50	12:20	雨風をしのげる温かい小屋で昼食。記念撮影
県営駐車場	13:00	13:17	朝日岳は断念、全員無事に下山
八幡園地 1,000m	13:30	14:30	満開のヤマツツジ群落。つつじ吊橋まで一周
新津駅西口	18:00		秋葉区役所前 16名、新津駅3名 解散

### 山行等概要(幹事のコメント)

- 五月晴れの陽気の日を実施したかったのだが、今回は雨風の中での山行となってしまった。当初計画の22日は「雨時々曇り」(降水確率70%)の予報、翌日23日は「曇りのち晴れ」(降水確率はAM20%、PM0%)に期待をしての延期でした。参加者数は、27人から仕事などで参加できない人がいて19人での山行となった。
- 那須RW山麓駅までのバス移動中は本降りの雨から小雨へと変わった。天候は回復傾向にあるので、RW山頂駅で最終判断をすることにした。山頂駅は気温5℃表示、微風、茶臼山頂はガスってはいけるが見えるので決行とした。登山道は砂礫からガレ場へと続く山頂に向け出発。
- 山頂では先行着組が15分程寒い中(体感温度5℃、風速5m位)後続組を待っていてくれ、全員山頂に完登できた。計画では壮大な景色を見ながら楽しいひと時を過ごせる筈であったが、即刻下山開始。峰の茶屋跡避難小屋で身体を温めながらの昼食をすることとなった。
- 朝日岳の山稜が見えないので全員で下山。
- 悪天候の中、無事全員下山ができ皆様に感謝いたします。
- 八幡つつじ園内では今盛りの20万本のヤマツツジの中を周回。



2022.5.23. 茶臼岳山頂1,915m

# 記憶に残る茶臼岳

1787 H.M.

夜中の3時頃、雷の音で目を覚ましました。

起きるにはまだ早いので、4時頃までうとうとしていました。雨です。登れるのかなと半信半疑。でも、新潟から出れば、晴れるだろうと期待しながら、5時半過ぎにバスに乗り込みました。

朝早いのですが、参加者の皆さんは元気で、私のテンションも上がっていきます。

会津に入っても、雨。那須に行けば晴れると信じて一路那須ロープウェイ山麓駅へ。薄日が差し雨でしっとりして、心なしか山の緑が美しく、いつしかルンルン気分。

予定通り、9時頃にはロープウェイ駅へ。風が心配されましたが、ロープウェイは運行されていました。平日ですいていて、皆そろって乗ることができました。頂上付近を眺める事ができ、期待がふくらみます。

10時過ぎには、山頂駅に着きさっそく登山開始です。雨は相変わらず降っています。最初は階段で整備された登山道ですが、ガレ場もあり足元に気をつけながらわき目もふらず（雨風でフードをかぶっていて前しか見えません）登りました。

皆さんの背中を追いかけ、登り続けたところ鳥居を発見。思ったよりも早く茶臼岳山頂に着きました。ほっとしたのもつかの間、結構な雨風です。それでも、和やかに写真を撮り合ったりして過ごし、登頂したんだと感ずることができました。

その後、峰の茶屋小屋跡の避難小屋に向かいました。避難小屋で昼食。悪天候なので、わりと広い小屋も満員でしたが、雪も残る寒さの中、雨風を凌げる小屋はありがたかったです。お腹も満たされ、冷えて縮こまった体も緩み、皆で下山することになりました。



山頂駅からの登山口



山頂へ向けて登る



山頂から下山開始。峰の茶屋跡避難小屋へ

滑らないよう気をつけて下りました。あっという間に県営駐車場です。バスで八幡つつじ園に向かいました。

雨も小やみになり、花盛りのつつじ園をゆっくり散策し、素晴らしい大株の見ごたえのあるピンクやオレンジのつつじを堪能しました。つつじ吊り橋もちょっぴり渡ってみました。吊橋はやはり、ゆれてなかなかのスリルでした。

予定より早く6時ごろには区役所駐車場に着きました。この山行で私が学んだことは、装備の大切さです。濡れにくい手袋と温かい飲み物があれば、快適だったのに次回はちゃんと用意しようと思いました。

でも、こんな私でも何事もなく帰って来られたのは会の皆さまのおかげです。ありがとうございました。忘れられない山行になりました。



県営駐車場口に無事下山



八幡つつじ園にて



2022.5.23. 峰の茶屋跡避難小屋

# 「茶臼岳・朝日岳」紀行

1808 K.M.

目覚まし時計のタイマーより先に雷鳴で目が覚め外は雨模様。これでは中止かと電話で確認するも中止連絡は入ってこない。そうだよ！向こうは栃木県、急いで乗車場所の区役所に。当初の予定日が天気が思わしくなく一日延期しての山行となった為、8名減の19名の参加で予定時刻より遅れることなく出発。車窓からの雨に洗われて一段と緑を増した感のある木々を眺めながらも時々ワイパーの動きを確認するも動きを止めない。天気の回復を祈り、これから初めて入山する山に思いを馳せていると山麓駅に到着。駅での情報では山頂での気温5℃前後とのこと。それぞれ防寒対策を済ませロープウェイに乗り込み青空も一瞬垣間見えたが、山頂駅に着くや完全に雨具着用となり4班編成の1班より順次風雨のガレ場続きの登山道を縦列で歩き出し、やがて鳥居をくぐり直ぐに大石の散乱する山頂に到着です。全員が揃ったところで写真撮影。山頂からの旧火口、噴煙、朝日岳もガスって確認できず。撮影終了後直ぐに「峰の茶屋跡避難小屋」に向けて下山。小屋に入ると数名が休憩中であったが、我々が入るとたちまち密状態に。それでも風雨を凌げる小屋のありがたみを感じながら昼食を摂るも悴ん



ここは日光国立公園



登山開始



ガスの中のを登る



ガレ場を登る



一歩一歩ふみしめて



山頂の祠



山頂は眺望無し



しばし待機



下山開始



避難小屋を目指す

だ手では思うようにいかず苦笑い！当初はここから「朝日岳」までのコースも設定されていましたが天気の回復が見込めないと判断し全員で下山することになり、一部雪の残る登山道を下りバスの待つ「県営駐車場」に。バスに乗車し20万本のヤマツツジ群落の「八幡つつじ園地」に。ここでは希望者の14名で小雨の降りしきる園内を散策し山では目の保養が出来なかった分見頃を迎えた大株のヤマツツジにししばし足を止めては見入る所も。散策後は帰路のみ。新津ICに近づくにつれて青空も見え、お日様も出ており、予定より早めに区役所に到着しました。ものは考えよう！！天気が悪かったおかげか？よそ見もせず危険なガレ場の登山道の確認に集注でき怪我人もです！ロープウェイも空いており！遭遇する登山者も少人数でした。HC初めての参加で記憶に残るであろう山行で、また百名山の「茶臼岳」を登りきった実績が残せました。全員が悪天候の中、無事帰宅できた事を喜び今回お世話になりましたL・SL・班長はじめ参加された皆様にはありがとうございました。



小屋で昼食



下山開始



雪渓を歩き



岩場を歩き



無事に下山！感謝！！



八幡つつじ園にて



つつじ吊橋  
L：130m  
H：38m

[ブログ「YAMAP ウツラ」雨風の茶臼岳（那須岳）をクリックしてご覧ください。](#)